

神道の友

新緑号
編集・発行
東京都港区西麻布
4丁目9番2号
寄附人「神道大教」本局
神道の友編集部
TEL 03-3407-0524 番

『大祓に思う』

管長 菊池 重敏



神道大教院では、毎年六月二十一日の「夏越大祓」と十二月二十一日の「年越大祓」を斎行致します。年末になりますと、今年色々やり残したことを片付け、一年の締めくくりをしようと考えます。この締めくくり

が大祓なんですね。お世話になった人に感謝の気持ちでお歳暮を贈る。借りたお金を今年の分をきちんと返す。壊れて直そうとしていた物を直す。今年の埃りは今年中にキレイにしておこうと大掃除をする。一つ一つ締めくくりをする事によって、新たなものに取り掛かれるのですね。締めくくりがないと、いつまで経っても同じことを繰り返しているだけで、成長を感じられない。一つ一つを自分の思いの中で区切りを作っていく、そうすることによって変化が起り成長が

生まれてくるのです。

大祓というのは、罪や穢れ、色々な煩わしさや気の迷い、怒りや悲しさ、又、心の煩わしさから招いてしまう病気、そうしたもののから区切りをつける神事なんですね。我々は神の子であり、神の清らかな心を持ち合わせているのです。そうした色々な煩わしさを罪穢れとして、祓い清めて、元の清々しい神の御心に還っていかうとする、人間が本来求め尽くしている、真善美と聖なるものを求めて止まない、自然な姿が大祓なんですね。長年日本人として培われてきた感性が有ります。真面目にコツコツ働く勤勉な心、新たなものを作り上げ、発見しようとする向上の心、人を敬い尊敬する謙虚な心、神仏を感じ、自然と共に生

明治天皇御製

世の中の人におくれをとりぬべし
すすまむ時にすすまざりせば
照るにつけくもるにつけて思ふかな
わが民草のうへはいかにと

きようとする広大な心、何よりも人間らしく生きようとする真面目な心、そうした日本の風土に育てられた素晴らしい心を、神の心として日本人は大切に出来たのです。

東日本大震災が発生した時、日本人の礼儀正しき、真面目さ、優しさが全世界から絶賛され、日本人の素晴らしさが評価されました。震源地より遠く離れた東京でも、交通が麻痺し、帰宅難民が続出しました。渋谷駅では、バス停に何万人もの人が行列を作ってバスを待っています。一糸乱れることもなく、整然と黙々と列をなしバスを待っているのです。その映像が世界に放映されました。我先にと列を乱す人は一人もいなく、ましてや、先を急ぐ人のた

めに行列の中に通路を開けているのです。この思いやりの姿が世界に感嘆をもたらしただけです。世界の中では混乱に混じり、略奪や暴行が横行したり、自己中心的となつて秩序が保たれなくなってしまう事も有ります。

しかし、その時の日本人のありさまは、日常行っている当たり前のことであつて常識の中の行動だったので、そうした世界の評価によつて、日本人自身が、戦後背負い続けてきた、日本人としてのマイナスの部分に一条の光明が差し込み、日本人としての自信と誇りが蘇つて来ました。日本人としての素晴らしい心を、神様から戴いた心として、大切にしていこうと思う行為が大祓行事なのです。

令和の御代初の新年互礼会を開催

令和の御代、初めての新年互礼会が、一月二十一日初月次祭の後開催されました。まず、午後一時より全国より参集した教師、教信徒参列の元、好天に恵まれた中、今年初の月次祭が斎主管長を始め、五人の祭員によって、厳肅に斎行されました。本殿祭では、修祓、献饌に次ぎ、斎主による祝詞が奏



新年互礼会参加者と祭員

上され、神恩感謝とともに、各位の御守護が祈念され、次いで橋村美樹教師、林日奈子局員によつて浦安の舞が奉奏されました。次に、長元禮典長先導の元、大祓詞並びに四大信條を参列者一同心を一つにして奉唱致しました。次に、斎主玉串奉奠、参列者それぞれが玉串を奉りて拝礼、次に、皇

室の弥栄を願ひ国歌を斉唱致しました。靈殿祭では、祥月靈位の慰霊が懇ろに執り行われ、東京婦人会有志の道彦によつて神教歌を奉唱。次に、それぞれが玉串を奉り感謝の心を捧げました。続いて管長より年頭の御挨拶と御講話があり、祭典を終了しました。弥栄殿に席を移し、令和の御代最初の新年互礼会が開催されました。始めに、若森正道責任役員より新年の御挨拶があり、次いで、岡本忠宣責任役員の乾杯の音頭で祝宴が始まりました。新年の直会膳に参加者は舌鼓し、親交を深めました。参加者全員に縁起物の干支土鈴と絵馬が頒布され、大教院の初詣参拝者全員に楽しんでもらった、大好評のお菓子の千本釣りゲームを祝宴参加者全員にも楽しんで戴きました。大盛況の中、参加者は今年のお互いの健闘を誓い合い、和気あいあいと続いた新年互礼会も、盛大の内に閉じとなりました。



若森責任役員の挨拶



斎主玉串奉奠



浦安の舞奉奏



ハイ！ピース



祝宴も盛り上がって来ました



直会膳に舌鼓

御本殿仮遷座祭を斎行



仮遷座祭祭員と参列者

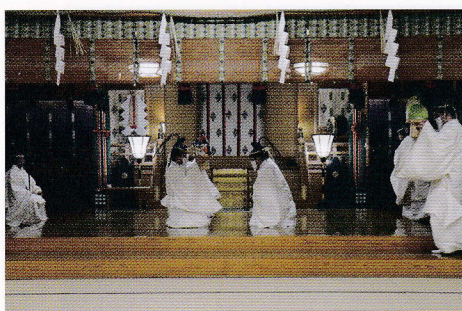
令和元年、新しき大御代となり、秋に斎行されました大嘗祭を奉祝し、本教と致しまして大嘗祭奉祝記念大祭と記念事業として、御本殿の大床改修工事を計画致しました。十一月二十一日に記念大祭を盛大に斎行し、大床改修工事は、今年の春季例大祭までに完了を計り、二月十二日より着工の運びとなりました。

工事期間中、仮御奉斎所となる霊殿に御神体をお遷しする、仮殿遷座祭を二月七日の浄暗に斎行致しました。まず、午後五時より、仮奉斎所となる霊殿の御霊位に対し、御遷座の奉告と、しばしの間、相殿として御奉斎させて戴く旨の奉告を致しました。



斎主遷座奉告祭詞奏上

中、管長斎主の元、副斎主・副斎主の手によって、御輿に御遷り戴き、絹垣に囲まれた中、警蹕の響く中、陰灯の明かりを頼りに、遷御の儀が厳粛に進められ、仮殿に御鎮座致しました。遷御が終了し、献饌の儀に次いで、斎主祝詞奏上、玉串を奉りて拝礼、祭員は座後列拝、次に、撤饌の儀、次に、閉扉の儀、最後に、斎主一拝、斎主・祭員退下で、仮遷座祭の重儀が滞りなく斎行されました。



仮殿御鎮座奉告祭



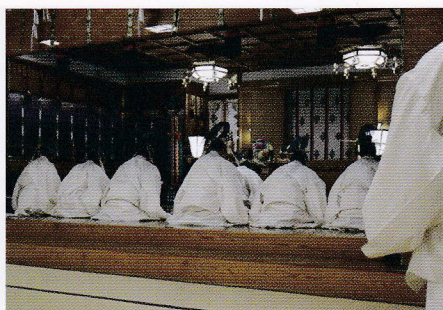
献饌の儀



遷座の為斎主大床に進む



閉扉の儀



玉串奉奠



斎主祝詞奏上

神道大教院の初詣



初詣の準備が整った境内

年明けの時報と共に初詣参拝者が次々と神道大教院の境内に集まって来ました。神殿参拝の後には、輪投げ占い、大絵馬に願い事を書き、御神酒と甘酒を戴いて、無料のお菓子の千本釣りに挑戦、当たった景品を戴いて笑顔で帰られる参拝者の姿が恒例となつて来ました。今年も正月三ヶ日穏やかな天候に恵まれ、境内は多くの参拝者で賑わいました。本局特性の手作り甘酒が好評で、お菓子の千本釣りで、釣れた景品に歓声が上

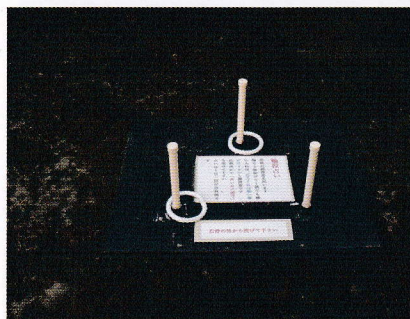


本教の教師、教信徒を始め、近郊の住民の皆様への心の拠り所として、神道大教院の御神威高揚に努めて行きます。

が、とても喜ばれました。輪投げ占いは、三回投げて一回でも入ると、心願が御神意に通じたとして、「赤い糸の御守」を無料で授与しています。今年も三百人位の参拝者ですが、今後の初詣にどれだけの人が来て下さるか楽しみです。



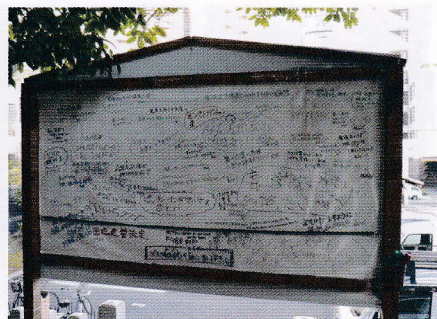
ねずみ年の大絵馬



輪投げ棒に入れます



輪投げ占の輪と説明文



大絵馬に祈願が書き込まれています



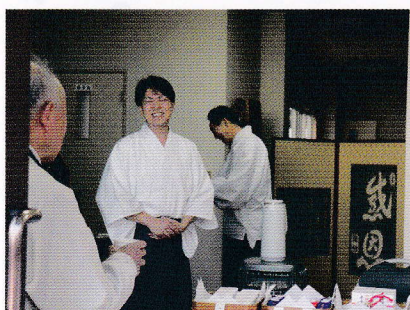
糸に結び付けられた景品



受付をする巫女



新年の授与品



参拝者と談笑する大熊・永澤局員



千本つりの景品を受け取る参拝者



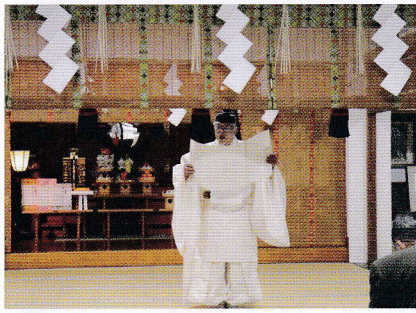
年越大祓で一年の罪穢を祓う

「人形」も全国よりよせられー

昨年の十二月二十一日午後一時より神道大教院神殿にて、恒例の年越大祓が近隣の教師、信徒を中心に大勢の御参拝者の元、厳肅に斎行されました。

修祓の儀ののち、斎主一拝、献饌の儀と続き、斎主祝詞奏上、続いて斎主が大祓詞を一同に宜り聞かせ、一同が応答致しました。

続いて、贖物（あがもの）神事として、解縄（ときなわ）・八針（やはり）・切麻（きりぬぎ）・形代（かたしろ）行事を行い、人形に各



斎主が大祓詞を宣る



解縄（ときなわ）行事

自の念を込め自身の不浄や禍神（まがつかみ）の災禍を託し、心身の健全を願いました。四大信條、清め祓（はらい）の歌が副斎主（禮典長）が道彦となつて全員で奉唱、副斎主が後祓詞（あとはいことば）を奏上し、斎主以下参列者が玉串を奉りて拝礼し大祓式を終りました。



人形行事

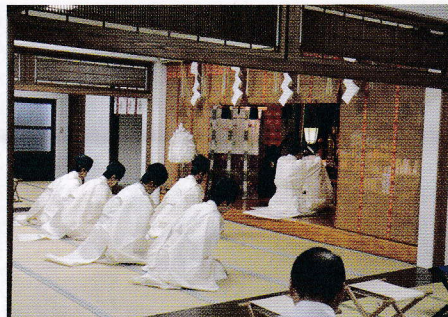


八針行事

直会では、渥美清の「男はつらいよ」で、くるま屋の店員三平ちゃん役で出演していた、俳優の北山雅康さんが、さくらの夫役で自身も出演する正月テレビ映画「贗作男はつらいよ」の紹介で御挨拶されました。北山さんは大教院雅楽寮で龍笛を習われています。



直会で挨拶する俳優の北山雅康さん



斎主玉串奉奠



副斎主（禮典長）後祓詞奏上



神道大教所属教場で、唯一災害に遭われた、栃木県永野御嶽中教会会長永澤忠彦様へ被害修復の一部に御使用戴くよう、皆様の真心を玉串料として、全額御奉納させて頂きました。

永澤教会長は大変感謝され、「皆様の温かいお気持ち」を有難く受け止め、修復の工事に使用させて頂き戴きます」との感謝のお言葉を戴きました。

令和元年台風十九号
義援金の御礼

被災者への義援金をお願いしましたところ、秋季大祭に御参拝された有志の方々に始め、お寄せ戴きました義援金は、十万円となりました。

孔子の教え

『儒教の特徴』

孔子が生きた春秋時代

殷(いん)王朝時代の王様は、上帝(天)に仕える宗教的儀式最高権威者として君臨していました。

その後、武王は弟の周公旦(しゅうこうたん)らの協力を得て殷王朝を滅ぼし、後に周王朝が誕生します。

その武王の死後は周公が摂政として統治し、天下泰平の時代が続きます。

十三代目の平王の時代、東方(西周)に遷都したが、この遷都をきっかけに王朝の統治能力が弱体化し始め、春秋時代となります。

つまり、春秋時代では周王朝の権威がなくなり、各諸侯(地方大名)が自らを「王」と名乗り、覇権争いが激化しはじめます。

そして、戦国時代に入ります。

この時代「斉国」は周王朝の成立に功績があった太公望を始祖とする大国で、春秋時代には五覇(は)の筆頭に挙げられる桓(かん)公によって国力が増しました。「秦国」は小国でしたが次第に勢力をのびし強大となりました。後に自らが皇帝を名乗り「始皇帝」が登場するので。彼は自分が任命した武官を地方統治のために赴任させ中央集権国家という支配体制の基礎を作りました。孔子は、名は丘(きゅう)字は仲尼(ちゅうじ)西暦前五五一年(春秋時代)に魯(ろ)の国に生まれ、衛(えい)の国、曹(そう)の国、宗(そう)の国、陳(ちん)の国、楚(そ)国などの諸国を巡って再び祖国である魯の国に戻りました。

儒教の特長

四書・五経を經典とする教え。

「仁」を理想の道德としています。

孔子に始まる中国の政治・道德的教えです。諸子百家の一つでもあります。

宋代に宋学が興って哲理面でさらに研究され、朱子学に集大成されますが、明の時代に入って王陽明をはじめとする朱子学の批判を受け、儒家による思想的な自然哲学として儒教は革新的な発展をすることになりました。さらに、清時代の末には「論語」として日本に伝来します。

(日本：応神天皇の時代)

今回のテーマは「禮」についてです。

「禮」其ノ一(泰伯第八)

子曰く、恭にして禮無ければ、即ち勞す。

慎にして禮無ければ即ち慙す。

勇にして禮無ければ即ち亂す。

直にして禮無ければ即ち絞孔子が言われました。

例え恭しく振舞っていても禮の基本が出来ていなければ、気苦労することになります。

ます。

また、慎重におこなっていても禮の基本が判っていないければビクビクすることになります。

例え勇敢であっても禮を身に付けていなければ人に逆らうようになります。

そして、正直であっても、禮の節度がなければ、人を責めるようになります。

「禮」其ノ二(泰伯第八)

子曰く、詩に興り、禮に立ち、樂に成る。

孝弟なる者は、其れ仁を為すの本か。

孔子が言われました。

詩で道義心をふり立たせ、禮で人間としての生活基盤を確立し、音楽で人間の徳性を完成させるのです。

「禮」其ノ三(顔淵第十二)

子曰く、禮に非ざれば視ること勿れ。

禮に非ざれば聴くこと勿れ。禮に非ざれば動くこと勿れ孔子が言われました。

禮に外れたものを視てはいけません。禮に外れた言葉

を聴いてはいけません。また、禮に外れた物事を行ってはいけません。

「禮」其ノ四(堯日第二十)

子曰く

命をしらざれば、以て君子と為す無き也。禮を知らざれば、以て立つ無き也。言を知らざれば、以て人を知る無き也

孔子が言われました。

天命を知らなければ君子としての資格がありません。禮を知らなければ世に立つことも出来ません。言葉を知らなければ人をも知ることが出来ません。



論語指導士

井上 象英

『人生の喜び事』

管 長 菊池重敏

人生の喜びって何だろうね。自分の思っている事、考えている事、したいと思っている事が叶えられていく時、充実感と喜びを感じますよね。

例えば、〇〇さんと結婚したいと思って、一生懸命アプローチして、念願が叶って結婚出来た時、人生最大の喜びを感じますよね。又、仕事の関係で自分に任された仕事や、やりたい仕

事が、みんなの協力を得て成し遂げた時なども、充実した気持ちとなり、喜びを感じますよね。

又、自分の好きな事が出来る、欲しい物が手に入る、これらも満足感を味わえて喜びとなりますよね。他にも色々な喜びが有ります。

健康である事、家族みんなが幸せに暮らしている事、何かに熱中している時も、充実感と喜びを感じます。

そうした時の喜びを考える、と、人生の喜びとは、自分一人だけの世界で喜びを感じるのではなく、相手がい

たり何人かあるいは大勢の人達と関わっている中に、喜びを感じるものだと思います。

ですから、人生の喜びとは、人との関わりの中で感じるものだと思います。生活を送っておりますと、家族はもちろん、親戚や隣近所の人、勤め先に関わる人達、又、趣味の世界で知り合う人、何かの出会いで

知り合った人達など、色々な立場で大勢の人達と関わって生活を送っています。そうした大勢の人達と関わる中で、当然気の合う人、合わない人、好きな人、嫌いな人が出て来ます。

となく、気の合わない人や嫌いな人とは関わり合いたく無いと思うし、遠避けようと思いますよね。

でも、生活を送っていく中に、そうした人達とも関わり合って行かなければならない状況も出て来ます。

例えば、会社関係の人や親戚の人や、隣近所の人など、嫌でも付き合って行かなければならない事も出て来ます。心で拒絶をしながら、表面だけで付き合う方法も有りますが、相手を見る目をチョット変えて見る事も大切です。

例えば、気の合わない人、嫌いな人と思っても、何かの誤解や勘違いからそう思い込んでしまう事も有ります。

どんなに嫌いな人でも、その人を好きだと思える人も又いるのです。考え方の違い、生き方の違い、或は生理的に理屈抜きで絶対嫌いという事もありますが、これはどうしようも仕方がありませんけれども、人は「十人十色」と言います。色々な価値観や感性、考え方など、人それぞれに違いが有ります。そうした違いの中で、自分とは違う生き方に感動したり、憧れや尊敬の心が生まれてくる事も有ります。感動の出会いが人生の醍醐味だと思えます。

人生の喜びは、人との関わりから生まれる喜びです。好き嫌いをしたのでは折角の出会いも半減してしまいます。嫌いと思っても、見方考え方を変えたならば、今までとは違った一面が見えてくるかも知れません。誰もが、自分の人生を頑張っているのです。その頑張りを感じたとき、その人を理解する事が出来る

ようになります。理解をすればその人を許したり、好きになる事も可能です。人とうまく付き合う方法は、「その人を好きになる事」と言います。

自分が嫌えば相手も嫌って来ます。自分が好きになれば、相手も悪い気はしなくなってきます。

気の合わない人、嫌いな人とうまく付き合っていく事が出来たならば、人生がもつともっと楽しいものになります。

こんな言葉が有ります。

「味方は作らなくとも、敵を作るな」好き嫌いを乗り越えて、自分の心を大きく広げ、相手を認める度量を持つ事が、敵を作らず、色々な人との出会いを楽しむコツとなります。

そして、色々な気付きを学ぶ事が出来ます。人生の肥やしとなって自分が成長していく事が出来るのです。

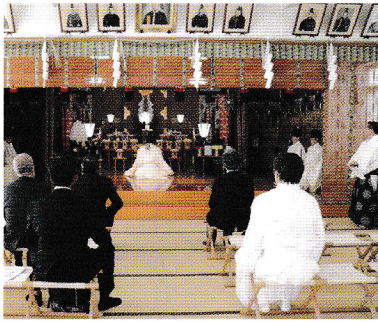


春分霊祭

令和二年三月二十一日、弥生の月次祭並びに春分霊祭を斎行致しました。

この度は、新型コロナウイルスが全国的に蔓延しており、大教院と致しまして、ウィルス拡散防止の三つの蜜を避ける為、参拝者席の間隔を広め、直会を取り止める等の対応を致しました。神殿大床改修工事の為、御神体を御霊殿に併せ祀っていますので、御霊殿にて総ての祭事を斎行致しました。

定刻の午後一時より長元総監進行の元、管長他六名の祭員に依って祭儀を斎行し、管長の弥生月次祭詞並びに春分霊祭詞・翔月命日祭詞

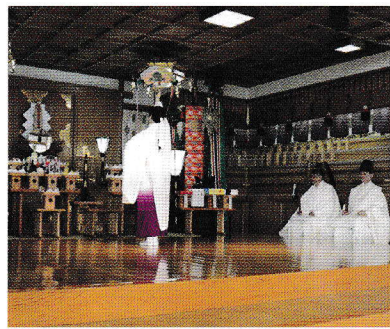


齋主慰霊祭詞奏上

奏上の後、慰霊の和歌、明治天皇御製「遠き御親」を管長が朗詠し、続いて慰霊の舞を林局員が奉奏、大祓詞・四大信條奉唱、続いて東京婦人会有志の道彦による神教歌奉唱、管長・役員御遺族・参拝者が順次玉串奉奠を行い、最後に管長よ

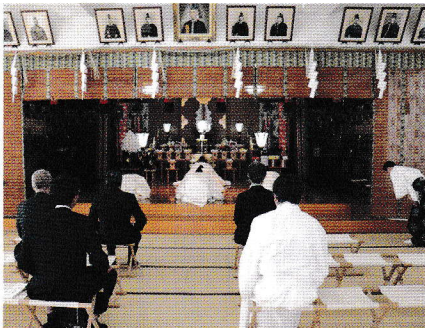


東京婦人会有志の道彦による神教歌奉唱

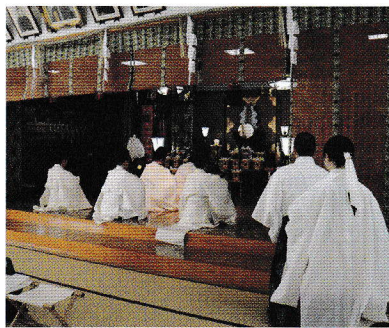


慰霊の舞奉奏

り講話が有り、滞り無く祭儀を終了致しました。参拝者はお神酒を頂戴し、おみやげと記念品を受けて、それぞれの帰路に着かれました。ウィルス拡散防止に対する緊張の中では有りましたが、祭員と参拝者が心一つとなって、大神様・御霊様に真心を捧げる、素晴らしい祭典と成りました事を御報告させて頂きます。



齋主玉串奉奠

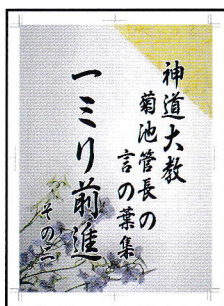
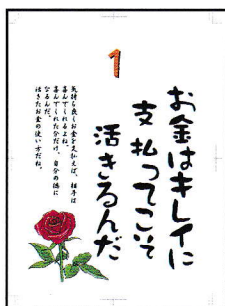


祭員大祓詞四大信條奉唱

「菊池管長のつぶやき」が

発売中 日めくりカレンダーになりました。
(62日分のお話掲載)

「菊池管長の言の葉集・一ミリ前進」



菊池管長の愛情、優しさ、思いやりの一杯詰まった日めくりカレンダー。
(六十二のお話、二か月分を収録)

本局でお買い求めいただけます。

(二冊税込一、五〇〇円)

高松宮喜久子妃殿下 御命日祭参列

令和元年十二月十八日高松宮喜久子妃殿下の御命日祭が都内の豊島岡墓地にて厳粛に斎行されました。

天皇皇后両陛下、御皇族の方々が午前中に御拝礼され、午後より招待者の拝礼が行なわれました。

始めに宮内庁式部官によって、修祓、斎主一拝、献饌の儀が行われ、祝詞奏上、参列者拝礼と続き、撒饌の儀、斎主一拝にて祭典が終

了しました。

当日は好天に恵まれ、本局からは菊池管長と長元総監、永澤部長が参列し、教派神道連合会より、扶桑教穴野史生管長、神習教芳村正徳教主、出雲大社教千家活彦東京分祠長他、招待者七十七名位の方々が御参列されました。



高松宮家御墓所（宮内庁公式写真）



参集所に飾られた妃殿下の御遺影

亡くなられたのを機に、癌の撲滅に関与され、昭和四十三年に高松宮妃癌研究基金を創設。生涯を通して癌撲滅に関与されました。



参集所にて直会参加者

四本木稻荷神社が
本局直轄法人となる

東京都北区滝野川三丁目六十一番地に鎮座する、宗教法人「神道大教四本木稻荷神社」の後継者が途絶え、神道大教の直轄神社として法人活動を続けることになりました。

「四本木稻荷神社」は、戦前軍用地の一角に鎮座していましたが、戦時中に元々あった神社と合祀し、現在地に移転しました。

初代代表役員に梶田穠園氏（かじだのうゑん）が就任し、以後親族によって継承されて来ましたが、現在の熊谷克子氏が高齢となり、法人役員の引継ぎも途絶え、法人活動が一切出来なくなり、熊谷氏より本局に法人処理の要請が有りました。

責任役員会にて審議し、本局直轄神社として活動する事に致しました。建物は老朽化し、修理も必要ですが、稲荷神社としての崇敬者も居り、これからの法人活動を積極的に行き詰る予定です。



境内を囲む神灯



御本社



参道



鳥居

授与所の建設に 御協力下さい

皆様より予てから御要望戴いていた「授与所」を建設する事となりました。

この授与所は弥栄殿の横で、道路にも面しており、御朱印や御守・御札を授与される方にお喜び戴けるだけではなく、駐車場の安全管理や一般の方々への教化にも繋がります。

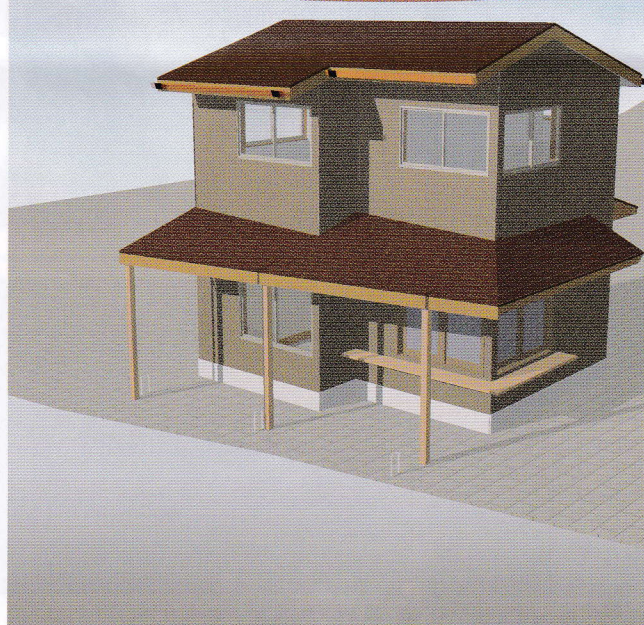
屋根の部分は銅板葺きとし、神道大教の授与所に相応した建設となります。

就きましては、皆様方への銅板を御奉納戴きたく存じます。

名前・生年月日などを直接記入し、授与所の屋根に使用致します。

本局へお越しの際に御記入戴くか、お申し込み戴ければ、本局にて代筆致します。また御奉納戴いた方は「奉納報告祭」にて大神様に御芳名を奏上申し上げます。

神道大教院授与所新築工事



銅板一枚の大きさ

152mm

365mm

使用銅板は約一千枚を予定しています。
出費御多端の折、誠に恐縮とは存じますが、皆様方の御協力をお願い申し上げます。
御奉納ご希望の方は、本局にご連絡いただければこちらから申込書と振込用紙を送らせていただきます。

◎銅板奉納 一枚二千円也

※銅板の枚数は何枚でも御奉納戴けます。

令和二年度 夏季研修会のご案内

○参加条件

現職教師及び本教教師・教場後継者として布教活動を志願する方。初任の方は教場長・現職教師（教師取得年限及び実務経験が五年以上）の推薦を得て、検定委員より許可された方に限ります。

○会 場 神道大教本局

○期 日

【全日過程】

八月二十二日（土）より

二十八日（金）まで

【前半過程】

現任者のみ
八月二十二日（土）より

二十五日（火）まで

【後半過程】

現任者のみ
八月二十五日（火）より

八月二十八日（金）まで

○費 用

【全日過程】

受講料・七万二千円

宿泊費・・・二万八千円

【前半・後半過程】

受講料・・・四万二千円

宿泊費・・・一万四千元

通いの方は、昼食代が別途かかります。（二千元程度）
※都合により受講を途中で終える場合でも、納入費用の差引返金は致しませんので御了承下さい。

○申込方法

受講希望の方は、八月十五日（土）までに、申込書に必要事項を記入の上、送付して下さい。初任者の方は、履歴書・住民票・証明写真（3.5cm×4.5cm）を必ず添付して下さい。

【注】 笄及び衣装類につきま

しては、本局での準備また注文はお受け出来ませんので、推薦者と御相談の上、各自で御用意下さいますようお願い致します。



本局通信

◎教内異動

☆教師補命

○補 権訓導

札幌八幡宮 (属)

北海道・鈴木浩司

・伊藤 誠

令和元年十二月十七日付

☆辞職者

○兵庫・日笠山八雲大教会

(属)

中講義・浦野森枝

令和二年一月二十七日付

☆帰幽報告

次の先生の帰幽の報に接し生前の御奉仕、御活躍をたたえ、謹んで哀悼の意を表します。

○令和元年帰幽

新潟・普明神社 (属)

権中講義・渡邊吉郎師

○令和二年二月帰幽

新潟・普明神社 (属)

訓導・田中圭司師

○令和二年一月十二日帰幽

兵庫・日笠山八雲大教会

(属)

権大講義・福岡喜美師

神道大教院第四十三回 総代会開催のお知らせ

来る令和二年七月二十九日(水)午後一時より、神道大教院本局弥栄殿広間にて、第四十三回神道大教院総代会を開催致し、令和二年度の大教院予算案並びに行事計画等についての審議を行います。後日御案内をお送り致しますので諸事御多用とは存じますが、総代の皆様には御出席の程宜しくお願い申し上げます。



第二十期第四回 大会議開催のお知らせ

来る令和二年七月三十日(木)午前十一時より、神道大教院本局弥栄殿にて、第二十期第四回大会議を開催致します。令和二年度の神道大教院本局会計並びに特別会計予算案その他承認事項につきまして当期最後の審議となりますので諸事御多用と存じますが御出席の程宜しくお願い申し上げます。議員の皆様には後日改めて御案内をお送り致します。また、閉会後に慰労を兼ねての懇親会を催したくここにお知らせ致します。

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

マスクを着用する (口・鼻を覆う) ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う 袖で口・鼻を覆う

新局員の紹介

神道大教研修生

十二月十二日付 辞令

伊木臣元 (いきたかゆき)

愛知県張旭市

神道大教所属教会後継の為、

教師の勉強を志して入局

特技

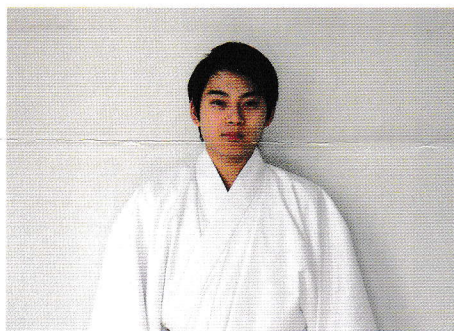
高校から大学まで松濤館

(しようにうかん)流の空

手を習う

現在二段

平成八年一月一日生まれ

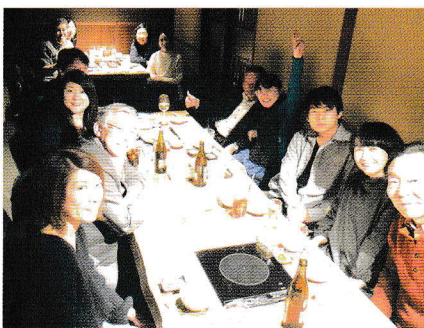


伊木臣元 局員



嘱託さんとの 交流会を開催

十二月十九日、本局近くの居酒屋「おとら」で、嘱託さんとの交流会を開催しました。日替わりで九人の嘱託さんに清掃や軽事務を担当して戴いています。嘱託さん同士の出会いがなく、作業日誌で情報を交換していましたが、人柄が見えないので、年に一、二回交流会を行って親睦を図っています。今回は三回目となり、旧知の仲間同士のように大変盛り上がり、楽しいひと時を共に過ごしました。



年末懇親会

管長の動向 (対外行事・事務局)

一月	一日	歳旦祭齋行・初詣正月体制 (三日まで)
	十四日	教派神道連合会理事会・新年会出席 (西麻布霞会館)
		大教院雅楽寮 (及び二十四日)
	十五日	中旬祭
	二十日	東京都教派神道連合会理事会・新年会出席 (天理教当番)
	二十一日	月次祭齋行・新年互礼会開催
	二十二日	責任役員会
	二十九日	東京都宗教連盟理事会・研究会出席 (大本東京本部)
二月	一日	月首祭
	三日	節分祭・高松宮宣仁親王殿下御命日祭参列 (豊島岡墓所)
	四日	大教院雅楽寮
	六日	世界連邦日本宗教委員会、日本国際文化協会 合同懇親会出席 (明治記念館)
	七日	大教院御本殿仮遷座祭
	十二日	本殿改修工事開始
	十五日	中旬祭
	二十一日	月次祭齋行
三月	一日	月首祭
	十五日	中旬祭
	二十一日	月次祭・春分霊祭齋行
	二日	月首祭齋行
	二日	本殿改修工事完了
	十三日	大教院御本殿遷座祭
	十五日	中旬祭
四月	二十一日	大教院雅楽寮 (及び三十日) 春季例大祭齋行



成人式おめでとう

ごぞいます

令和二年一月十三日成人の日当日に、毎年正月に御参拝されておられる御家族が、御令嬢と共に御来社され、管長により神前にて成人の報告と身体健全の祈願祭が齋行されました。
新成人としての輝かしい歩みを心から御祈念申し上げます。



教場紹介の記事を募集します

神道大教所属の教場・教会神社の活動情報交換をしませんか。
教場設立の時期・教場設立者・現在の教場長・活動内容などを写真と共に送ります。
「神道の友」に御紹介致します。
是非情報をお寄せ下さい、お待ちしております。
神道の友編集部